



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 リンテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 柴野 洋一

TEL 03-5248-7713

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	61,917	2.0	5,094	2.7	5,269	9.8	3,881	42.9
30年3月期第1四半期	60,705	25.4	4,960	33.3	4,798	70.3	2,715	28.6

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 768百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 1,109百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	53.79	53.70
30年3月期第1四半期	37.64	37.58

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	285,261	183,280	64.0
30年3月期	292,733	186,420	63.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 182,579百万円 30年3月期 185,702百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		33.00		33.00	66.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		39.00		39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,000	3.2	23,000	14.5	22,000	19.6	16,000	42.1	221.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	76,564,240 株	30年3月期	76,564,240 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	4,397,778 株	30年3月期	4,410,239 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	72,156,025 株	30年3月期1Q	72,151,696 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は61,917百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は原燃料価格の上昇や固定費増加などの減益要因があったものの、米国子会社の収益改善などもあり5,094百万円（同2.7%増）、経常利益は5,269百万円（同9.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間に米国子会社において事業構造改善引当金繰入額925百万円を計上したこともあり大幅増の3,881百万円（同42.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

## 【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は29,585百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は米国子会社の収益改善などもあり1,189百万円（同72.7%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

## (印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品は、国内では宅配・通販関連や飲料用キャンペーンラベル、化粧品などのアイキヤッチラベル需要により堅調であったものの、食品関連が低調に推移しました。海外ではアセアン地域において堅調に推移しましたが、米国において円高による目減り影響を受けました。この結果、当事業部門の売上高は21,257百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

## (産業工材事業部門)

二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において順調に推移したほか、ウインドーフィルムが国内外で伸長しました。この結果、当事業部門の売上高は8,327百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

## 【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は22,563百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は3,011百万円（同6.5%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

## (アドバンストマテリアلز事業部門)

半導体関連粘着テープおよび関連装置は、自動車用やクラウドサーバー用などの需要が好調であったことにより増加しました。また、積層セラミックコンデンサ関連テープについても、自動車用などの需要が好調であったことにより増加しました。この結果、当事業部門の売上高は12,974百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

## (オプティカル材事業部門)

液晶ディスプレイ関連粘着製品は、テレビの大型化により需要が順調であったほか、スマートフォン用などの中小型向けも堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は9,588百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

## 【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は9,769百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は原燃料価格上昇の影響を受け853百万円（同41.2%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

## (洋紙事業部門)

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みであったものの、工業用特殊紙や耐油耐水紙などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は4,161百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

## (加工材事業部門)

一般粘着製品用、電子材料用剥離紙は低調であったものの、光学関連製品用剥離フィルムや炭素繊維複合材料用工程紙が順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は5,607百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は285,261百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,472百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の減少	△2,052百万円
・「受取手形及び売掛金」の減少	△1,958百万円
・「のれん」の減少	△2,511百万円

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は101,980百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,331百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の減少	△1,307百万円
・「未払法人税等」の減少	△1,540百万円
・「長期借入金」の減少	△1,276百万円

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は183,280百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,140百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	1,500百万円
・「為替換算調整勘定」の減少	△3,921百万円

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月9日に公表した業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,614	56,562
受取手形及び売掛金	72,590	70,631
たな卸資産	38,506	38,824
その他	3,991	3,794
貸倒引当金	△109	△103
流動資産合計	173,593	169,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,342	32,214
機械装置及び運搬具（純額）	24,962	26,301
土地	11,083	11,072
建設仮勘定	5,087	3,710
その他（純額）	1,859	1,840
有形固定資産合計	75,336	75,139
無形固定資産		
のれん	29,189	26,677
その他	3,285	3,047
無形固定資産合計	32,474	29,724
投資その他の資産		
その他	11,426	10,784
貸倒引当金	△98	△98
投資その他の資産合計	11,328	10,686
固定資産合計	119,139	115,550
資産合計	292,733	285,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,678	53,371
短期借入金	2,351	3,109
1年内返済予定の長期借入金	2,986	3,033
未払法人税等	2,889	1,349
役員賞与引当金	89	20
事業構造改善引当金	39	—
その他	14,814	13,583
流動負債合計	77,849	74,468
固定負債		
長期借入金	14,395	13,119
環境対策引当金	132	132
退職給付に係る負債	13,006	13,825
その他	930	435
固定負債合計	28,463	27,512
負債合計	106,312	101,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,201	23,201
資本剰余金	26,829	26,829
利益剰余金	137,743	139,243
自己株式	△7,711	△7,689
株主資本合計	180,062	181,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657	487
為替換算調整勘定	8,139	4,217
退職給付に係る調整累計額	△3,157	△3,709
その他の包括利益累計額合計	5,639	994
新株予約権	214	202
非支配株主持分	503	498
純資産合計	186,420	183,280
負債純資産合計	292,733	285,261

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	60,705	61,917
売上原価	45,236	46,020
売上総利益	15,469	15,897
販売費及び一般管理費	10,508	10,803
営業利益	4,960	5,094
営業外収益		
受取利息	38	50
受取配当金	253	241
固定資産売却益	3	0
為替差益	—	32
受取保険金	8	16
その他	84	107
営業外収益合計	389	448
営業外費用		
支払利息	62	59
固定資産除却損	70	156
為替差損	361	—
支払補償費	3	4
その他	54	53
営業外費用合計	552	274
経常利益	4,798	5,269
特別利益		
投資有価証券売却益	342	—
特別利益合計	342	—
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	925	—
特別損失合計	925	—
税金等調整前四半期純利益	4,215	5,269
法人税、住民税及び事業税	990	669
法人税等調整額	531	715
法人税等合計	1,522	1,385
四半期純利益	2,692	3,883
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,715	3,881



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	2,692	3,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△254	△170
為替換算調整勘定	△1,360	△3,929
退職給付に係る調整額	32	△552
その他の包括利益合計	△1,582	△4,652
四半期包括利益	1,109	△768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,140	△763
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,136	21,034	9,534	60,705	—	60,705
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	20	3,758	3,794	△3,794	—
計	30,151	21,055	13,293	64,500	△3,794	60,705
セグメント利益	688	2,826	1,452	4,967	△6	4,960

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,585	22,563	9,769	61,917	—	61,917
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	14	4,102	4,130	△4,130	—
計	29,599	22,577	13,871	66,048	△4,130	61,917
セグメント利益	1,189	3,011	853	5,054	40	5,094

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。